3
March 2017
No.729

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（理事　椿 誠）……3
- 理事会報告 ……4
- 委員会報告 ……7
  （総務・医療連携、厚生・医療管理）
- リレー投稿③ ……12
- 復活 グルメハンター ……13
- 郡市会報告 ……14
  （天草郡市、山鹿市、下益城郡、玉名郡市）
- つどい（テニス部）……16
- 新入会員 ……17
- 会務報告 ……17

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

６回目の「熊本城マラソン2017」はゴール地点の熊本城が被災して一時は開催が危ぶまれたが、ランナーのエネルギーを復興の力に、１万3441人が参加して開催されました。好天に恵まれたこともあり、沿道に過去最多の約23万人（主催者発表）が詰め掛け、途切れることのない沿道の声援を受けながら力走しました。歯科医師、歯科衛生士はメディカルランナー、ＡＥＤ隊、ボランティアとして大会を支え、会館に集合してスタート前の気合が入った写真です。　（Ｔ．Ｋ）

正当なる歯科医療への評価を目指して

理事　椿　　誠

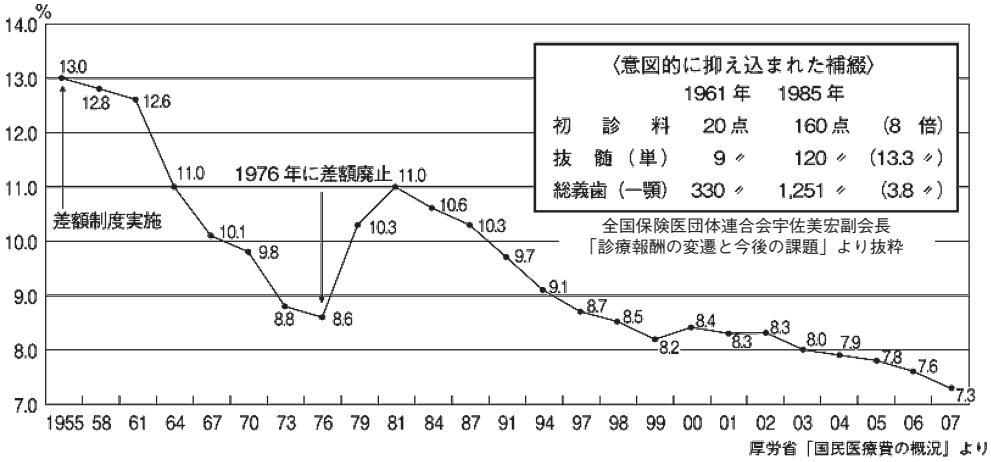
国の医療費は年間40兆円を超えて、さらに年間１兆円づつ増加している現状です。今後もっと超少子高齢社会に向かっていき医療費が増加することは間違いないでしょう。平成28年度の診療報酬改定では歯科の改定率は0.61%、医科0.56%・薬剤0.17%と良かったものの総医療費に占める割合は現在6.8%と以前より下降し続けている現状があり、到底満足のいくものではありません。近年、新医療の項目でCAD／CAM・ファイバーコア等が保険収載され、会員の方々も色々なご意見をお持ちだと思います。厚労省のホームページには以下のように掲載されています。

「安全で質の高い医療サービスを提供するためにけがをしたり病気になった時に、安全で質の高い医療サービスを受けることができる医療提供体制を確立し、赤ちゃんからお年寄りまで全ての国民が、健康で長生きできる社会を目指しています。」

これを見て皆様はどう思われますか？私は国民皆保険制度は国民にとって有益なものであると思いますが、かなりの矛盾を感じます。よって国がこの制度を存続させる以上、医療費の確保は絶対条件だと考えます。そんな中、国民医療費に占める歯科の医療費の割合は診療報酬改定ごとに下がっている事はご存知だと思います。歯科材料もどんどん高騰していく中、それに反比例するような現状をどうにかしなければなりません。他国と比べてもあまりにも歯科への評価が低すぎるのではないでしょうか。近年、医科歯科の連携がどんどん進む中、歯科の重要性も再認識されつつあります。人の健康は口からと我々歯科医師は自信を持って国民に訴え続けることが重要であると考えます。現在、国の方針は訪問診療の充実を図ろうとしていますが、歯科診療所は一人で診療されている先生が多い中、訪問診療を行うには自分の昼休みを割いて行かれてるのだと思います。この様に様々な問題を抱えている歯科業界、今後も歯科への評価がこのままであれば我々は歯科独自の何らかの方法も考え始めなければならない時期に来ているのではないでしょうか？

頑張っている歯科医師が報われる様な体制づくりの為に皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

国民医療費に占める歯科診療医療費の割合



厚労省「国民医療費の概況」より

理事会報告

地域医療構想の策定に対応

― 第21回理事会 ―

１月25日（水）午後７時より県歯会館において、浦田会長他松本・赤尾・椿理事を除く全役員の出席のもと開催された。

１．開会：小島副会長

２．挨拶：浦田会長

新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとりまして幸多き一年となりますようお祈り致します。昨年は、熊本地震への対応で大変な一年でした。しかし、難局のなかで歯科医師会の結束力の強さが再確認できましたし、役職員の皆様の粘り強い努力のお陰で、本会の組織力を会員の皆様にお示しすることができたと考えております。今年は、復興元年であり復旧復興に向けてまだまだ気が抜けませんが、会員の皆様に安心して復旧復興いただけるよう、我々の残る任期の半年間も精一杯取組んでまいります。震災の影響により地域医療構想の進捗が遅れておりましたけれども、構想は今年度中に策定されますので、これに対応できるように会務を進めていきたいと思います。ところで、干支で申・酉年は世の中が騒ぐといいます。昨年の申年は騒ぎ過ぎる年でしたが、今年の酉年は上昇気流に乗って昇り続ける良い年になるよう祈念しております。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

３．議長選出：浦田会長

４．議事録署名人：久々山監事、西野監事、浦田会長

５．会務報告：

（自：12月21日～至：１月22日）

本会総務：理事会、常務理事会、日歯災害歯科コーディネーター研修会

地域保健：糖尿病・歯周病医療連携研修会

広　　報：会報２月号の編集・校正

医療対策：医療相談・苦情事例報告

センター・介護：障がい児(者)口腔ケア地域リーダー育成事業歯科健診

総務・医療連携：がん医科歯科連携歯科医師対象研修会、がん連携・病診連携事業紹介患者数

学　　院：運営審議会

国保組合：九歯連役員会、九歯連協議会

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．平成29年度九地連関係諸会議の開催期日・場所

□九州各県地域保健担当者会

日時：平成29年10月７日（土）

場所：県歯会館

□九地連会長会・協議会・総会

日時：平成30年２月17日（土）

場所：ホテル日航熊本

２．関係機関・団体からの選任通知

□司法委員／熊本地方裁判所

前野　正春　会員　任期：平成29年４月１日～平成30年３月31日

３．平成29年度税制改正大綱

昨年12月下旬に閣議決定され、診療報酬に係る所得計算・事業税非課税の特別措置が29年度も同様に存続することが報告された。

４．くまもとスマートライフプロジェクト

プロジェクトを紹介する広告記事が、12月27日付の熊日新聞朝刊に掲載された。

さらに、今後開催される企業向けセミナーで、生活歯援プログラムを紹介することが報告された。

5．第39回むし歯予防全国大会の開催期日・場所
日時：平成29年10月21日(土)
場所：くまもと森都心プラザ
6．自然放射線と診断用Ｘ線の放射線量の比較に関するポスターの周知
２月の定期発送物で会員に周知する。なお、周知文書内にポスターはカラー印刷できることを追加する。
7．会計12月末現況
8．その他
□４階プロジェクターの不具合
熊本地震の影響と思われるが、プロジェクターの固定位置のずれが生じている。天井に点検修理のための点検口を作る等の改善策を今後検討する。
□会館の耐震診断に係る費用見積り
設計事務所に会館の耐震診断に係る費用見積りを依頼したところ、地震保険を掛ける際の参考にするならば診断は通常行わないので、不要ではないか、また、診断を行う場合は壁や柱に穴を開けて調査するので調査後の見た目が悪くなるとの報告により、引き続き地震保険加入の可否を含め今後検討する。
□熊本地震に係る熊本城修復のための寄付
県薬剤師会が熊本城修復のために復興城主の制度を使って寄付を行った。本会でも復興城主の形で寄付することを今後検討する。

7．連絡事項：
1．２月行事予定
2．平成29年度年間行事予定

8．承認事項：
1．新入会員の承認〔承認〕
西山 洋三（山鹿市／第１種）１名の入会を承認した。
※28年度入会状況（１月末現在）：第１種・15名、第２種・３名、第３種・１名
2．熊本地震報告書編集委員会の設置〔承認〕
設置及び構成メンバーについて承認した。
3．名義後援使用依頼及び歯科医師の派遣〔承認〕
□子育てすくすく☆子ども博／テレビ熊本
□第35回熊本春節祝賀会／県日中協会

9．議題：
1．第184回日歯臨時代議員会における「地区代表事前質問」〔承認〕
各役員より提出された３案の中から、回復期における医科歯科連携の推進について質問することを承認した。
2．在宅医療普及啓発に伴う歯科医療機関の募集〔承認〕
県が実施する予定である在宅医療普及啓発に伴う歯科医療機関の募集に対して、本会として了承することを承認した。なお、「在宅医療に取組む医療機関等の申請書【歯科医院】(案)」については、修正案を県に提案する。
3．くまモンandよ坊さんバッジの作製〔承認〕
２案のデザインから１つを選択し、5,000個作製することを承認した。
4．平成28年度臨時代議員会会務報告
次回の理事会までに、各所管で内容を確認することとした。
5．第24回中規模県歯科医師会会議各県提出協議題〔承認〕
回答（案）について一部修正して承認した。
6．第２回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議の出席者及び懇親会〔承認〕
出席者及び懇親会の運営内容について承認した。
7．県歯科医師会創立110周年記念式典・祝賀会の案内状〔承認〕
原案から一部修正して承認した。なお、本会会員については参加申込をハガキではなくＦＡＸで受け付けることとした。
8．九地連協議会における提出協議題回答〔承認〕
原案から一部修正して九地連に回答することを承認した。
9．会員からの会費・共済互助負担金の減免申請〔承認〕
会員１名からの減免申請について承認した。

10．平成28年度県委託（補助）事業に係る予算〔承認〕

医科歯科連携訪問歯科診療用機器整備事業、認知症対応力向上研修事業、障がい（児）者口腔ケア地域リーダー育成事業に係る予算明細書（案）について承認した。

11．新電力会社の選定〔承認〕

契約内容に不利な点などが無いか確認して問題無ければ、イーレックスと契約することを承認した。

12．平成29年度本会会計収支予算書（案）〔承認〕

原案どおり承認し、３月の臨時代議員会に議案として提出することとした。

13．平成29年度本会積立金収支予算書（案）〔承認〕

原案どおり承認し、３月の臨時代議員会に議案として提出することとした。

14．第17回警察歯科医会全国大会の開催期日・会場・運営〔承認〕

開催期日（平成30年８月25日土曜）、会場（ホテル日航熊本）について承認した。なお、運営については、今後準備委員会を設置し協議することとした。

15．平成29年度県後期高齢者歯科口腔健康診査の実施に伴う健診単価〔承認〕

平成28年度同様の健診項目及び健診単価で承認した。

16．後期高齢者歯科健康診査結果の入力事務委託〔承認〕

入力事務について外部委託することを承認した。

10．協議事項：

１．医療法第25条第１項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正

厚労省からの通知文書について、会員に周知するか否か協議した結果、要綱の一部改正が適用されるのは病院歯科だけであるので、混乱を防ぐため周知しないこととした。

11．監事講評：

西野監事より「現執行部の任期もあと約半年、この調子で本会の会務運営を良い方向に導いてほしい」と激励の言葉があった。

12．閉会：中嶋副会長

（広報　竹下 憲治）

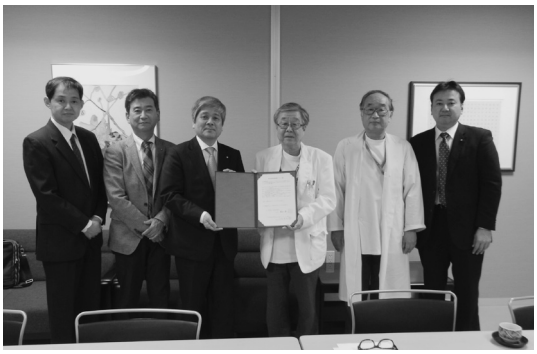
熊本リハビリテーション病院と連携を始めます。

― 回復期医科歯科連携事業 ―

平成26年４月より回復期病院と歯科医師会との連携事業が始まり、現在４病院（熊本機能病院、託麻台リハビリテーション病院、江南病院、青磁野リハビリテーション病院）と順調に行っています。この３年間で1,387件（29年１月現在）の紹介をいただいております。

１月20日（金）に浦田会長、宮坂副会長、牛島常務理事、宇治の４人で熊本リハビリテーション病院を訪れ、古閑病院長、山鹿副病院長、白石事務長の立会いの下、病診連携の覚書を交わしました。

これまでの回復期医科歯科連携と違い、熊本リハビリテーション病院には歯科医師が常勤しています。病院に対し訪問診療に伺うのではなく、退院または転院後も歯科治療や口腔ケア等継続的なフォローが必要な場合、本会医療連携室に連絡いただき、患者さんの住まいまたは転院先の郡市歯科医師会に依頼、そこから訪問等可能な歯科医師を派遣していただくという新たな連携をとらせていただきたいと思っております。



新たな連携への取り組みに向けて

尚、現在も４病院へ訪問歯科診療をしていただける会員を募集しています。参加を希望される会員は事務局医療連携室（担当：金子）までご連絡ください。

今後とも回復期医科歯科連携事業に対しご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

（理事　宇治 信博）

委員会報告

歯周病とがんの関係について

― がん医科歯科連携事業講演会 ―

総務・医療連携

１月12日（木）午後７時30分より医科歯科医療連携事業講演会として「消化器がんについて」という演題で熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学分野の馬場秀夫教授の講演会が開催された。

浦田会長の挨拶で、馬場教授は近年、歯周病の原因菌の一つ「フソバクテリウム」と食道がんの関連性を研究しており、フソバクテリウムの検出の有無と食道がん手術後の生存率に着目し、フソバクテリウムを詳しく研究すると、がん治療薬の開発につながるのではないかという発表を行った教授であることが紹介され、講演が始まった。

講演内容も

⑴熊本大学消化器外科の紹介
⑵がんに対する外科治療
⑶医科歯科連携
⑷口腔内歯周病菌とがん
⑸口腔ケアによる合併症予防

の内容で進められ、老化や加齢によるがん発生のメカニズムや手術方法、大腸がんの腹腔鏡手術術や食道がんの食道手術再建術などについて詳しく説明された。

また、喫煙と飲酒の組み合わせが食道がんの危険性を著しく増大させることや飲酒をしたとき顔が赤くなる人（フラッシャー）の人が食道がんになりやすいなどのアルコールを代謝する遺伝子（ALDH２）が関係していることなど興味深い内容だった。

「フソバクテリウム」と食道がんの関連性を説明する馬場教授

医科歯科連携についても、周術期における口腔機能の管理の重要性や病棟での歯科医師による栄養サポートの評価などがん診療におけるチーム医療の実践を説明し、口腔内のグラム陰性嫌気性桿菌 Fusobacterium nucleatum が大腸がんの発育進展を促進している可能性があることや上部消化器がんにおいても発育促進に関与している可能性があることを報告した。そして食道がん組織中の Fusobacterium nucleatum が多い症例は予後不良になりやすいことも報告された。

今回の講演で術前術後の口腔内の清潔さを保つことが、消化器がんの手術合併症のリスクを下げ長期予後における生存率を上げ、がん治療の成績向上につながる可能性があることがわかった。

改めて医科歯科連携の重要性と口腔清掃の大切さを知る講演会だった。

（総務・医療連携　神﨑 理子）

早期離床、廃用症候群予防のために

― 熊本南病院地域ケア連携研修会 ―

１月18日（水）午後６時30分より、小川町総合文化センターラポートにて、がん拠点病院研修会が行われた。熊本南病院は定期的に地域ケア連携研修会を行っており、院内48人、院外26人の多職種74人の参加があった。

昨年に引き続き牛島常務理事が講師として招かれ、まず熊本地震における本会の活動報告があり、早い段階で歯科が介入したことで誤嚥性肺炎による震災関連死はきわめて少なかったと話した。次に「高齢者と口腔ケア」と題して講演が始まった。講演は大きく５つの項目で構成されていた。

１．がん医科歯科連携事業

がん治療と口腔ケアのかかわりには大きく３つに分けられている。

連携１「手術前患者を対象とした口腔ケア」、
連携２「がん化学療法と頭頸部放射線治療における口腔ケア」、
連携３「がん緩和医療における口腔ケア」
についてそれぞれの説明と現状を報告。

２．口腔ケアの大切さ、難しさ

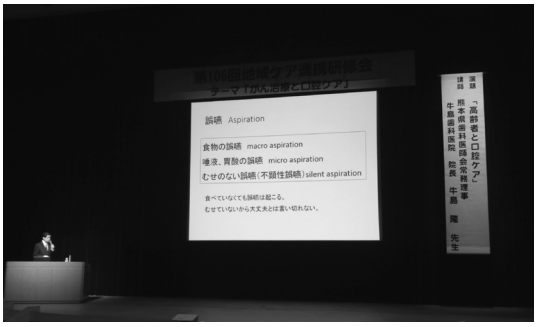
口腔内細菌が全身に及ぼす影響、歯周病と糖尿病の関連性を説明後、義歯の清掃方法や補綴装置の種類とそれぞれ口腔ケアが難しい理由をわかりやすく説明。口から食べないとより清掃性が悪くなると口腔ケアの必要性を訴えた。

３．フレイルとサルコペニアと歯科の関係

日本歯科医師会が国民へ提唱しているオーラル・フレイル（歯・口の機能の虚弱）は病気の前段階として予防の必要性があり、サルコペニアは食べる機能の低下→低栄養状態→筋肉量の減少→運動量の減少→食欲の低下といった悪循環を生じる。

口から食べないと摂食・嚥下・咀嚼機能の廃用をおこし、消化管の廃用につながる。

更に口腔内の清浄性を保てず、「食べる」楽しみを奪うこととなる。



５つの項目について詳しく説明する牛島常務理事

４．食べられる口づくり

咀嚼機能の評価は、歯科医師、歯科衛生士が評価する必要があり口腔衛生の徹底と歯・義歯の治療や調整が必要である。さらに食べるためには舌が重要な働きをしており、義歯の口蓋部分の調整をすることで嚥下しやすくなる。

５．これからの連携のあり方

歯科は口腔ケアを通して、急性期（救急病院）、回復期（回復期リハ病院）、維持期（在宅・施設・療養病院）すべてのステージで関わり、低栄養、誤嚥性肺炎を対策することで患者さんの早期離床、廃用症候群の予防につながる。

最後に、医科歯科連携に関する問い合わせ先として本会を紹介し終了した。

（理事　宇治 信博）

回復期医科歯科連携の発展に向けて

― 託麻台リハビリテーション病院研修会 ―

１月19日（木）午後５時30分より託麻台リハビリテーション病院にて、病院研修会が行われた。本会より牛島常務理事が講師として招かれ、「回復期リハビリテーション病院における歯科の役割」という演題で講演した。多職種67人（医師５人、看護師27人、理学療法士３人、言語聴覚士６人、放射線技師３人、薬剤師４人、栄養士１人、事務・その他16人、歯科衛生士１人、歯科技工士１人）の参加があった。

平成26年４月より医科歯科連携事業を開始した経緯や、本会に紹介いただいて、登録医を派遣するまでの流れ等、現在の連携体制のしくみについて説明があった。

多職種67人参加

現在４つの病院と連携を取らせていただいて３年間で1,387件（平成29年１月現在）の紹介をいただいている。

次に口腔ケアは器質的口腔ケア（清掃や含嗽によって口の中の細菌の繁殖を防ぐ）と機能的口腔ケア（口の機能を回復させ維持・向上する）に分けられ、口腔ケアをしないと「口腔内が乾燥→痰の貯留・口臭→口腔周囲筋の委縮（咀嚼筋の委縮、顎関節の委縮、舌の委縮）→表情・会話の減少→食べられない」と悪い連鎖の流れの説明があった。

長崎リハビリテーション病院のデータで、急性期病院からの紹介患者さんは口腔衛生状態が悪いうえに、栄養サポートが必要な方が多かった。熊本県は特に急性期病院から回復期病院への患者さんの移行が早いので日常的に同じようなケースが見られる。口腔ケア・口腔リハビリテーションをすることで、低栄養、誤嚥性肺炎や合併症を予防し早期離床、廃用症候群の予防につながることを話した。

実際口腔ケアをする上での難しいケースや口から食べることの重要性、オーラル・フレイル、サルコペニアをそれぞれ説明した。

最後に熊本県地域医療構想の第６章に、将来のめざすべき医療提供体制の実現にむけた施策として、回復期医科歯科医療連携協議会を通じて連携推進に向けた検討、人材育成、連携の必要性に対する県民の理解促進を図る普及啓発等を進めます。という文言が入った。今後のさらなる回復期医科歯科連携の発展を願って終了した。

（理事　宇治 信博）

脳卒中の摂食嚥下障害と栄養ケア

― 地域完結型の治療とリハビリテーションを考える会 ―
― 回復・維持期リハを考える会 ―
― 熊本脳卒中地域連携ネットワーク研究会 ―

１月26日（木）午後６時30分より、くまもと県民交流館パレアにて、第４回地域完結型の治療とリハビリテーションを考える会・第29回回復・維持期リハを考える会・第28回熊本脳卒中地域連携ネットワーク研究会が開催された。

分科会報告としてデータ部会から本県における急性期17.1日→回復期93日→維持期178日が平均的な入院日数であると報告された。

基調講演は「脳卒中の摂食嚥下障害と栄養ケア」という演題で、玉名地域医療センター摂食嚥下栄養療法科の前田圭介内科医長の講演があった。まず嚥下スクリーニングテスト（V-VST、咳テスト、TOR-BSST、３オンス水飲みテスト）の紹介があり脳卒中患者肺炎のリスク因子に禁食をあげられた。次に嚥下リハにNMES（神経筋電気刺激）、特に速筋に働き、刺激があるので認知機能が低下した患者に嫌がられる場合がある。それに比べTESSは感覚刺激なので患者自身あまり気にならず、唾液分泌亢進効果、嚥下回数増加等の効果があり喉頭を挟んで週５回最低10分～

回復期における医科歯科連携事業の説明を行う牛島常務理事

50分２W～８W行う。NMESやTESSは嚥下リハとして有用であると説明された。

ベッド上安静は１日0.5%筋肉量が減少し、それは１年間加齢による筋肉量の減少とほぼ匹敵し、50%カロリーが足りないと１日0.2%筋肉量が減少する。つまりサルコペニアの摂食嚥下障害予防には、リハビリ、栄養管理、口腔ケアが重要だと説明された。

基調講演後シンポジウムが行われた。

○歯科医師の立場から：「摂食機能療法における歯科の役割」

熊本県歯科医師会　牛島 隆　常務理事

本会より牛島常務理事がシンポジストの一人として講演した。舌接触補助床の紹介や義歯の口蓋部分の調整を言語聴覚士と連携し行うことで嚥下しやすくすることができる。また口腔ケアや口から食べることの重要性を参加者に話された。本会で現在行っている回復期における医科歯科医療連携事業の説明がなされた。

その他の演題とシンポジストは下記の通りである。

○急性期の立場から：「当院における摂食機能療法の現状」
　済生会熊本病院　榎田 幸助 言語聴覚士

○回復期の立場から：「QOLとしての摂食嚥下を考える～回復期の役割～」
　熊本機能病院　月足 亜佐美
　摂食・嚥下障害看護認定看護師

○在宅の立場から：「食べ続けることを支えたい。在宅での食支援」
　訪問看護ステーション「みゆきの里」
　本田 あずみ　言語聴覚士

急性期、回復期、維持期すべての立場で口から食べることの重要性を多職種で理解できた良い機会となった。

（理事　宇治 信博）

誤嚥を予防して健康寿命を伸ばす

― 回復期病診連携歯科衛生士対象研修会 ―

２月２日（木）午後７時30分より県歯会館４階ホールにて「誤嚥を予防するポジショニングと食事＆口腔ケア」というテーマのもと日本赤十字広島看護大学の迫田綾子特任教授の講演会が行われた。

歯科衛生士対象ではあったが、参加者は、歯科医師・歯科衛生士・看護師・言語聴覚士・栄養士・専任教員・学生など様々な職種の方も参加いただき、牛島常務理事の開会挨拶の後に講演が始まった。

超高齢化社会の到来で、誤嚥性肺炎や窒息、低栄養やサルコペニア、フレイルなど食生活にかかわる課題が日常生活を脅かす中で、誤嚥を予防して健康寿命を伸ばし平和な生活を営むケアとして、食事時や口腔ケア時のポジショニングが非常に重要で、講師は現在、研究や実践からの臨床知としてPOTT（ポジショニング（PO）で食べる（T）喜びを伝える（T））プログラムを創り、全国へ技術伝承しているとのことだった。（参考：POTT研究会 http://pott-program.jp）

スライドでは、リクライニング時のポジショニングの工夫と車いすでのポジショニングの工夫の実際を細かくレクチャーしていただいたわけだが、特にリクライニング時や車いすでも、上肢と足底の安定と、頭頚部は顎から胸骨までの距離を４横指程度に前屈させることが重要であるとのことだった。

適切なポジショニングが大切である

適切なポジショニングをとることで、口腔ケアでは口腔内の汚染物の気道への流入や誤嚥を予防でき、摂食嚥下アセスメント（評価）では正確な評価を導く。摂食嚥下障害のある人への援助はチームケアが必要で、今後も医師・歯科医師・看護師・歯科衛生士・介護職・リハビリ専門職が協同で考え、専門職を発揮しながら支えていく必要性を改めて感じられる講演であった。

いくつかの質疑応答後、宇治理事の謝辞・閉会の辞をもって終了した。

（総務・医療連携　三隅 賢祐）

委員会報告

歯科衛生士リカバリー事業開催

― 歯科衛生士リカバリー研修会 ―

厚生・医療管理

１月14日（土）午後３時30分より、県歯会館４階ホールにおいて第１回歯科衛生士リカバリー研修会が開催された。「接遇の分解と合体Part２実習編」（心豊かにできる接遇は、当たり前を、ちょっとの工夫で！）という演題にて、昨年に引き続き野口純佳歯科衛生士により講演が行われた。この歯科衛生士リカバリー研修会とは、熊本県の委託事業であり本会と県歯科衛生士会の共催により行われた。また、復職を希望する歯科衛生士を対象とした復職を支援する研修会である。

宮井理事の司会進行により、渡辺専務理事からは本日の講演会にて接遇を身に着けて今後の復職、診療に少しでも役立てるようになってほしいと激励の挨拶があった。

会場は、約58人の歯科衛生士の参加があった。１時間の講演後、休憩をはさみ実習となった。３人１組のペアで患者役、歯科衛生士役、聞き役に分かれた。いろんな接遇を想定したロールプレイングは接遇の客観的な評価につながっていき意味深いものであった。また、人の性格をタイプ別に分類し接遇に結びつけていく手法の紹介もあった。すべては、患者さんに安心して治療を受けて頂く為の接遇であり、信頼感につながっていくということであった。歯科衛生士としての知識、スキルはもちろんのこと、身だしなみ、表情、言葉使い　　、

すべては患者さんに安心して治療を受けて頂くためである

目配り、気配り、心配りに細心の注意を払い、患者さんから感じのいい人に見られるように立ち振る舞うべきとのことであった。

現役の熟練歯科衛生士だからこそわかる観点からの接遇セミナーであった。短い時間ではあったが、参加した歯科衛生士にとっては、復職のきっかけになる研修会となったのではないだろうか。最後に、牛島常務理事から謝辞があり、感謝状が贈られ閉会となった。

３時間という短い時間ではあったが、接遇というものを実感できたのではないだろうか。少しずつでも診療の中で接遇を意識し身につけて頂きたいものである。

今回の研修会が、昨今の歯科衛生士不足を解消し、安定的な人材の確保の役に立てば幸いである。

（工藤　智明）

りレー投稿③

「冬の楽しみ」

熊本市　小野 秀樹

熊本地震では阿蘇への道路が寸断され、特に南阿蘇高森は地震の被害より道路の不通による被害の方が大きいのではないでしょうか。本当に大変だろうなと感じました。そんな中、紅葉を見に南阿蘇、根子岳に向かいました。久しぶりに立ち寄った田楽のお店。肌寒くなったこの季節には囲炉裏の暖かさが心地いい。ゆっくりと温まる田楽とその横で燗をつけるかっぽ酒、いいですね。しかし、車なので飲むわけにもいかない。そこで家でかっぽ酒を飲めないものかと思案しました。囲炉裏じゃなく火鉢だったらなんとか我が家にも置けるかもしれない。

そういえば実家の縁側の下に使われていない火鉢があった。そこで始まった火鉢でかっぽ酒計画。さっそく火鉢を持ち帰り準備することに。

その１（火鉢）　陶器の火鉢と木製の火鉢があります。木製火鉢は木目が綺麗で趣きがありますが、手持ちの火鉢は陶器です。木製火鉢は断熱のために内側に銅板を巻いていますが、これが熱くなりそうです。陶器の火鉢は灰のある面より上が熱くない程度にあったかくなり、暖房器具としても使えます。とにかく火鉢にはいろいろ種類があり奥が深いもののようです。

その２（炭）　炭には白炭と黒炭があります。製法の違いによるものですが、屋内で使用するにはより高温で焼き上げ不純物の少ない白炭がいいようです。備長炭などが白炭の代表です。これとは別におがくずを固めて炭にしたオガ炭というものがあり性質は白炭に似ており安価。業務用にもこのオガ炭が使われることが多いようです。一方、黒炭は火の着きはいいが、火持ちは悪いようで、主に屋外でのバーベキュー等で使用するのに適しているようです。今回オガ炭を使うようにしました。

その３（灰）　火鉢の中には灰が敷き詰められており、これが断熱材の役割をしています。温度が伝わってしまうと木製の火鉢は燃えるし、陶器の火鉢は割れてしまう。おかげで火鉢の下の方は熱くなく、床に直接置いても支障なさそうです。灰としては木材を燃やした木灰がいいようですが比較的高価なものです。鹿児島県の枕崎産が多いようで、これは鰹節の燻製に使った木材の灰のようです。今回、火鉢には灰まで入っていたのでこのまま使用することにしました。

その４（火消し壺）　白炭系のオガ炭は火の付きが悪いものの、火がつくと火持ちがいい。しかし一旦火がついてケスミになったものは着火材でもすぐに火がつきます。一度火をつけたら燃やし切らずにケスミを作っておくことが大切です。そこで火消しツボも必要となりました。

その５（竹筒）　自作することにします。

ここまで揃えて実家の里山に竹を調達に行きました。竹は孟宗竹ではなく小ぶりの真竹がいいようです。早速切り出して作ってみました。酒を入れる部分は一節、節の上の部分を斜めに切り、下の節の部分は灰に刺しやすいように細くしました。なんとなく田楽屋にあったものを思い出し作りました。ついでに枝でぐい飲みも作り、早速、竹筒にお酒を入れ燗をつけてみました。しかしこのかっぽ酒の竹筒、我が家の火鉢にはちとでか過ぎたようです！酒を注ぐとなんと５合も入る。この大きな竹筒を小さな火鉢で温めると燗がつくまでに時間がかかりました。しかし、程よい燗と竹の香りとでなかなかいいものです。冬

の夜にチビチビやるにはもってこいです。火鉢も上の部分は触っても熱くない程度で火の暖かさは心地よい暖かさです。最近、竹林を見るともう少し小ぶりな竹が無いかと気になってしょうがありません。焼酎用には地震でも割れずに残ってくれた黒じょかが合います。柄が燃えることもなくちょうど良い火加減です。今年の冬は暖冬と聞きますがそれでも冬は寒いもの。ほのかに赤い火を見ながら過ごすのもいいもので、今年の冬の楽しみです。

次は永田歯科医院を継承している宮田正孝会員です。

以前から委員会で一緒に仕事をしましたが、ここ数年ランニング仲間として熊本城マラソンや阿蘇カルデラウルトラマラソンを共に走って来た仲間です。

どんな投稿になるか、楽しみです。

気まぐれに復活 グルメハンター

cafe & listining bar CLICHÉ（クリシェ）

— 玉名界隈 —

’17年１月にオープンしたカフェ・アンド・リスニングバー。

先日、職場のスタッフ７人でおじゃましました。

「おしゃれ〜〜！」と歓声の上がった店内は、カウンター９席と、上質な音楽を聴くためのソファー２席。ミニライブのできる小ステージもあり、アコースティックギターやピアノ奏者を募集中とのこと。

地元食材と季節のフルーツを使ったカクテル、おつまみ、グラスシャンパンやワインが揃い、マスターお薦めのシングルモルトやブランデーも多数用意されていました。

ジャズの流れるなか、ウイスキーやカクテル、お酒の飲めない女子は、フレッシュジュースや紅茶を注文。りんごをクリームチーズで和えたおつまみも美味しかったなあ〜。

こだわりの熟成豆を使って淹れたコーヒーは薫り高かったです。

マスターのこだわりが随所に光り、とってもお洒落で大人の癒し空間でした。

グラスワイン　　400円〜
グラスシャンパン　500円〜
熊本県玉名市中1932-2（中央病院前）
TEL：0968-82-8866
OPEN：20時〜1時（金土は〜３時）
休：不定

※お好みのＣＤやアナログレコードがあればお持ちください。
おかけしますとのことでした。

※会報をご覧のお客様は、ワイン１杯サービス。

天草郡市歯科医師会

2017年のスタート

— 新年会 —

１月７日(土) 午後５時よりホテルアレグリアにて天草郡市の新年会が開催された。今年も天草市長、上天草市市長、県議会議員、医師会会長等10人もの来賓の方々にご列席頂いた。皆様からの有難いご祝辞の話題の中心は、やはり昨年の熊本地震であった。今年こそは自然災害の無い明るい年にしていきたいと皆さん口を揃えて言われていた。北岡薬剤師会会長の乾杯により、祝宴が始まった。そして来賓の牛島常務理事が編集された、熊本地震の歯科医師会の復興支援の活動DVDを流された。未曾有の大地震の映像を改めて見ることで、普通に生活ができるという事がいかに有り難い事であるか思い知らされ、また口腔ケア支援に参加された方々の熱心さに大変感銘を受けた。美味しいお酒と料理に舌鼓を打ち、楽しく歓談しているうち、もう一つのメインイベント、勇励会員の厚生労働大臣表彰受賞の報告があり、記念品が贈呈された。これは会員全員にとって、大変名誉な受賞であり、大きな拍手が送られた。楽しい時間はあっという間に過ぎ、約３時間の新年会は終宴となった。２次会に場所を移し、遅くまで皆で大いに語り合った。

災害の無い明るい新年に

（松原　崇士）

山鹿市歯科医師会

熊本地震からの復興へ三師会、行政の協力を確認した新年会

— 新年会 —

１月14日(土)、新年会が山鹿市の寿三ホテルで行われた。

最初に、神山会長の挨拶の後、浦田県歯会長が、熊本地震に対応した県歯の対応や全国からの支援の話、県歯110周年記念行事の話等について挨拶された。

続いて、幸村鹿本医師会長、江上山鹿地区薬剤師会長、中嶋山鹿市長、坂本衆議院議員、池田山鹿保健所長に挨拶頂いた。旧鹿本郡市会員でもある牧県歯連盟副会長から選挙の話があった。医療費について、幸村会長が、坂本議員へ話を投げかける一幕もあった。

その後、原賀前会長が文部科学大臣表彰を授与され、記念品の贈呈を行い、挨拶された。

藤原山鹿市議会議長に乾杯の御発声を頂き、宴会が始まった。

新年会では震災ＤＶＤが放映されたり、サプライズでプロの女性歌手の歌謡ショーがあったり、カラオケがあったりと、例年より催し物が多く、新年会は大いに盛り上がった。

催しが多く、大盛会に

武市専務理事が歯科医師会と医師会、薬剤師会、行政とお互い連携して、今年もこの会に集まった方々の御健勝と御発展と震災の復興を祈念して一本締めで会を終えた。

（小林　聡）

下益城郡歯科医師会

復興への底力を

— 新年会 —

１月14日（土）午後７時より、ホテルキャッスル「奥座敷 ほそかわ」にて新年会がとり行われた。

先ず吉永会長より「明けましておめでとございます。昨年は色々あって本当に大変な年でしたが、こうして皆さんと顔を合わせる事が出来てうれしく思います。」との挨拶に続き、下益城郡歯科医師会の次期役員についての考えを述べられた。「小さな会だからこそ大切にして行きたい、本日の新年会で新たに親睦を深め楽しく飲みながら語らいましょう。」と言われた。

引き続き、昨年11月に小川町で開業した鎌田会員より新入会員の挨拶があり、河野会員の乾杯の音頭となった。会はスタートし豪勢な料理が運ばれて来ると、次第に話は日常の会話で弾み、昨年起きた地震の被害状況や復興状況の話から、正月休みに行った旅行先の話、はたまた

笑顔溢れる会員一同

今年の抱負や、健康管理、ダイエットetc……など他愛もない話で、盛会となった。震災の後とは思えない程の盛り上がりに、復興半ばであるからこその底力を感じる新年会であった。最後に大森会員の一本締めにて閉会となった。

（田染 直子）

玉名郡市歯科医師会

良い年となる事を願う

— 新年会 —

１月27日（金）午後６時30分より「司ホテル」にて、来賓21人と会員を合わせて51人での新年会が盛大に開催された。森会長挨拶の後、熊本地震において各避難所で本会が行った活動を知ってもらうため「熊本地震における熊本県歯科医師会の対応」の動画を放映した。次に来賓挨拶に移り浦田会長、野田毅衆議院議員（代読坂梨秘書）、斉藤玉名市副市長、森、浦田、内野県議会議員に挨拶を頂いた。その後平山玉名郡市医師会会長の乾杯の音頭で宴が始まった。今回は特に企画はせず、来賓の方々とじっくりと会話を楽しむことができ、大変有意義な時を過ごした。山本荒歯会会長の締めでお開きとなり、2017年

今年が良い年になるように

が良い年となる事を参加者全員で願った。

（永廣 有伸）

2年ぶり優勝ならず…3位。博多に完敗！

― 九州歯科医学大会厚生事業テニス大会 ―

テニス部報告

10月23日（日）午前８時30分より、九州歯科医学大会厚生事業のテニス大会が小雨の降る寒い中、福岡県営春日公園にて開催された。緑が多い、広い敷地で熊本に例えていえば総合運動公園といった感じの所でコート数は16面もあった。今回は地元福岡からの参加が多く100人を超す参加者だった。当日からの参加が多く、前日の魔の飲み会はなくなり体調万全で試合に挑むことができた。初めに熊本地震に対し九州各県より熊本にお見舞金を頂き、代表の友枝が御礼の挨拶を述べた。

試合はチーム数が多いためトーナメント方式にて行われた。多いところは福岡チームで７チームも出場しており、熊本は17人と福岡の１人を加えて３チームで出場した。チーム編成は以下の通り

Ａ：チーム肥後もっこす

山根、飯田、山口（一）、八木、山口（英）、山口（洋）

Ｂ：チーム火の国

友枝、大塚、野村（健）、城井（か）、高松、小野

Ｃ：チームくまモン

木村（浩）、七川、布井、上野（真）、有働、増田（福岡）

Ａチームは初戦から福岡（無法松）と３－０、ベスト８は久留米に２－１と勝利しベスト４までは進んだが、永遠の宿敵博多（山笠）に０－３と完敗した。

Ａチームには久しく新戦力の若い山口（洋）が加わり、２年ぶりの優勝を目指していたが、博多（山笠）にさらに２人新戦力が加わっており（１名は化物）、手も足も出なかった。３位、４位決定戦は博多（どんたく）２－１で勝利しシードだけは死守する形で終わった。

Ｂチームは初戦で福岡（サザンクス）と対戦した。雨の中の試合で、相手も同じ条件だったので言い訳はできないが惨敗。コンソレーションでの１戦目は沖縄で、戦略はここで敗退し次から勝ち進みリコンソレ優勝の予定だったが、相手も同じ作戦なのかここで勝ってしまう。コンソレ２戦目は宮崎（霧島）。勝たないと試合が終わってしまうので全力で挑んだが、１－２で敗退。これでＢチームの九地連は終了。あっけない幕切れであった。

３位！　チーム肥後もっこす!!

Ｃチームは最終戦で木村（浩）、布井組がチーム唯一の１勝をあげるも、チームとしては全敗という結果となった。自分としては、前回１勝したので今回はそれ以上と考えていたが、打つ手なく惨敗。反省点が多々見つかり次につながる手ごたえはあった。優勝は博多、２位大分、３位熊本Ａの結果で幕は閉じた。

いつも通り帰りに焼き肉屋で打ち上げをし、盛り上がって解散した。

来年は大分県が主催、今回は十分な練習が出来なかったと言い訳したかったが、その分次に向けすでに練習を重ねている。

しばらく優勝は厳しいが、上を目指し、チーム一丸となって頑張っていきたい。

最後になりましたが、お忙しい中応援に来ていただいた浦田会長はじめ執行部並びに事務局の皆様ありがとうございました。

（有働　秀一）

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

西山　洋三
（ニシヤマ　ヨウゾウ）

山鹿市大橋通506

やまが歯科こども歯科

①再生医療、日本政治・経済
②山鹿の地域住民の健康維持・増進に繋がる歯科診療になればと考えています。
③今まで勤務させて頂いた職場での経験を活かした患者様への説明やサポート
④未熟者で周囲に御手数をかける事が多いとは思いますが、御指導・御鞭撻の程宜しくお願い致します。

会　務　報　告

自　平成28年12月21日
至　平成29年１月22日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	12月21日	支払基金審査委員懇談会（ホテル日航熊本）	浦田会長
		第３回選挙管理委員会	杉尾委員長他全委員、渡辺専務理事、八木・牛島常務理事
	22日	熊本空港緊急計画連絡協議会（熊本空港事務所）	牛島常務理事
	23日	日歯災害歯科コーディネーター研修会 受講者：143名	浦田会長、小島・宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・八木・牛島常務理事、井上・椿・宇治理事
	24日	月次監査 （１）11月末会計現況監査	久々山・西野監事
	26日	第20回理事会 【承認事項】（１）新入会員の承認（２）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼 （３）名義後援使用依頼 【議　　題】（１）平成28年度臨時代議員会の議事・協議 （２）平成29年度総務事業計画案の再提出 （３）平成28年度第24回中規模県歯科医師会連合会及び九地連の提出協議題　ほか	浦田会長他全役員、伊藤学院長
	28日	仕事納め式	浦田会長、小島副会長
		事務局仕事納め	
	29日	事務局年末・年始休暇（至１月３日）	
	１月４日	事務局仕事始め	
		仕事始め式	浦田会長、渡辺専務理事
		新年挨拶廻り（県庁、県警、熊本市役所）	浦田会長、小島副会長、八木常務理事、澤田事務局長
	５日	第36回常務理事会 （１）平成29年度年間行事予定（２）第17回警察歯科医会全国大会の主管 （３）２月行事予定　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	７日	九州各県専務理事連絡協議会（沖縄県口腔保健医療センター）	渡辺専務理事
		八代歯会新年会（セレクトロイヤル八代）	小島副会長、澤田事務局長
		天草郡市歯会新年会（ホテルアレグリアガーデンズ天草）	牛島常務理事
	11日	第783回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
	13日	熊本市歯会中央支部新年会（熊本ホテルキャッスル）	浦田会長、渡辺専務理事
	14日	熊本市歯会新年懇親パーティー（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）	中嶋副会長、八木常務理事、澤田事務局長
		阿蘇郡市歯会新年会（熊本市）	小島副会長、田上常務理事
	16日	会計打合せ （１）H29年度予算打合せ	渡辺専務理事、八木常務理事
	17日	第１回熊本地震報告書編集委員会	宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・八木・牛島常務理事、竹下・宮井・宇治理事
	18日	第37回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）熊本地震アンケート集計の対応 （３）平成28年度臨時代議員会会務報告　ほか	浦田会長他中嶋副会長・牛島常務理事を除く常務理事以上役員

所管	日付	摘要	出務者
総　務	19日	対外広報プロジェクト打合せ （１）熊日・越地氏との打合せ	竹下理事
		熊本民事調停協会新年会（KKRホテル熊本）	前野会員
	20日	国保審査委員会新年会（ホテル日航熊本）	浦田会長
		スマートライフプロジェクト打合せ	渡辺専務理事
	21日	第152回神奈川歯科大学学会　学外例会懇親会（アークホテル熊本城前）	小島副会長
		日本口腔インプラント学会第34回九州支部学術大会懇親会（熊本ホテルキャッスル）	宮坂副会長
		県歯剣道部　牧野敬美会員旭日双光章受章祝賀会・新年会（熊本市）	牛島常務理事
		菊池郡市歯会新年会（ホテル日航熊本）	渡辺専務理事
社会保険	12月24日	社会保険個別相談会 相談者：２名	田中理事他６委員
		社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）社会保険講演会　ほか	中嶋副会長、田中・椿理事、清水委員長他12委員
	１月５日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：１名	田中理事
	12日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	井口・舩津・今﨑委員
	20日	県医療費適正化計画検討委員会（県庁）	椿理事
地域保健	12月22日	地域保健委員会 （１）糖尿病・歯周病医療連携研修会・検討会の開催	赤尾理事、二宮委員長他６委員
	１月６日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（七城観光バス） 受診者：17名	歯科衛生士２名
	７日	糖尿病・歯周病医療連携研修会 受講者：83名 講師：熊本大学大学院　古川昇准教授	宮坂副会長、田上常務理事、赤尾理事他全委員
		糖尿病・歯周病医療連携検討会	田上常務理事、赤尾理事、二宮委員長他全委員
		地域保健委員会 （１）１／20熊本さわやか大学校大学院講演内容の確認	赤尾理事、二宮委員長他全委員
	20日	熊本さわやか大学校大学院講演（県総合福祉センター）	二宮委員長
		全国健康保険協会熊本支部保健師・管理栄養士研修会（全国健康保険協会熊本支部）	田上常務理事
広　報	１月13日	広報小委員会 （１）会報２月号編集・第１校校正	竹下理事、永廣副委員長他２委員
学校歯科	１月17日	歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇市立一の宮小学校） 歯磨き指導	宇治理事他歯科衛生士１名
		県学校保健会合同研修会	浦田会長、大林理事
	18日	学校歯科委員会 （１）むし歯予防全国大会（２）歯科担当者会議	大林理事、河原委員長他全委員
	19日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
	20日	第54回県高等学校保健研究協議大会（火の国ハイツ）	宮坂副会長
医療対策	１月18日	医療対策委員会 （１）事例報告検討（２）各郡市医療相談担当者会（３）委員提出協議題	小島副会長、岡田委員長他全委員
センター・介護	12月21日	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業歯科健診事前打合せ（障害者支援施設うぐいす）	山本衛生士
		センター運営についての打合せ会 （１）口腔保健センターの運営	松岡センター長、松本理事、熊本市歯・渡辺副会長、高松専務理事
	１月６日	委託事業打合せ （１）歯科衛生士会との委託事業打合せ	松本理事
	13日	センター・介護小委員会 （１）障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業歯科健診事前打ち合わせ	松本理事、平井委員長、規工川副委員長
	14日	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業歯科健診（障害者支援施設うぐいす）	松本理事、今藤委員、田中・塚本会員、歯科衛生士４名
	21日	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業歯科健診事前打合わせ（こどもサポート広場ぐんぐんロケット）	松本理事、平井委員長
厚生･医療管理	１月11日	厚生・医療管理委員会 （１）就業規則の見直し（２）医療管理講演会	牛島常務理事、宮井理事他全委員
	14日	医療管理講演会 受講者：58名 講師：野口純佳歯科衛生士	渡辺専務理事、牛島常務理事、宮井理事他５委員
総務･医療連携	１月12日	がん医科歯科連携歯科医師対象研修会 「消化器がん」 受講者：85名 講師：熊大大学院生命科学研究部　馬場 秀夫　教授	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、牛島常務理事、宇治理事、神崎副委員長他３委員
	18日	国立病院機構熊本南病院　第106回地域ケア連携研修会（小川町総合文化センターラポート）	牛島常務理事、宇治理事
	19日	熊本託麻台リハビリテーション病院研修会（託麻台リハビリテーション病院）	牛島常務理事、宇治理事
		熊日広告社との打合せ （１）新聞広告の内容	牛島常務理事、宇治理事
	20日	熊本リハビリテーション病院との病診連携覚書き締結（熊本リハビリテーション病院）	浦田会長、宮坂副会長、牛島常務理事、宇治理事
	22日	県医療・保健・福祉連携学会（熊本テルサ）	浦田会長、小島・宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・八木・牛島常務理事、宮井・田中・宇治理事
国保組合	１月21日	九歯連役員会（ホテル日航福岡）	浦田理事長
		九歯連協議会（ホテル日航福岡）	浦田理事長、上野副理事長、桑田常務理事他２名
	22日	九州各県国保事務担当者連絡会（福岡県歯会館）	田尻課長補佐、塩山係長

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

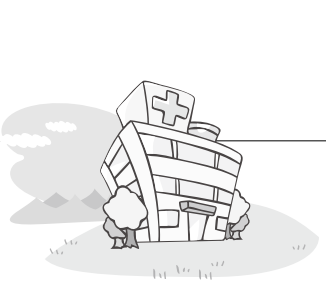
③ 障害給付金･高度障害保険金も準備されます

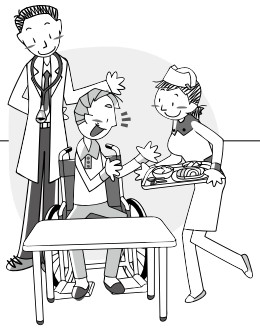
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

PREMIST
大江ザ・レジデンス
OE THE RESIDENCE

熊本県歯科医師会会員の皆様へ

ダイワハウス分譲マンション「プレミスト大江ザ・レジデンス」のご案内

外観（平成28年8月撮影）

建物内モデルルーム公開中／即入居可

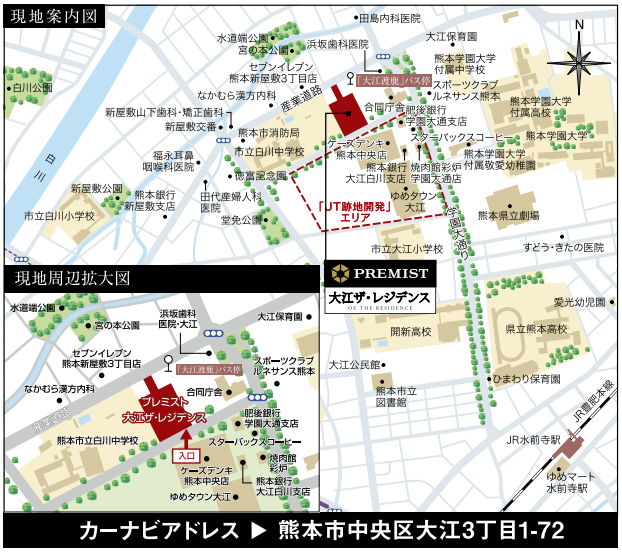
熊本高校、熊本県立劇場等が身近に揃う
（約720m）（約480m）
文教の地大江エリアに誕生

JT跡地開発エリアが目の前
ゆめタウン大江まで徒歩3分（約240m）

総戸数182戸の
ビッグスケールプロジェクト

「プレミスト大江ザ・レジデンス」共通物件概要●物件名称／プレミスト大江ザ・レジデンス●所在地／熊本県熊本市中央区大江3丁目1番10（地番）●交通／九州産交バス「大江渡鹿」バス停徒歩1分、熊本市電「九品寺交差点」電停徒歩11分●用途地域／近隣商業地域・第2種住居地域●地目／宅地●建ぺい率／64.67%●容積率／223.31%●敷地面積／6,910.78㎡●建築面積／3,345.19㎡●建築延床面積／19,685.64㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）・地上14階建●建築確認番号／第BVJ-S14-10-0203号（平成26年6月27日）●総戸数／182戸（別途、グランスイート1戸・コミュニティプラザ1戸・管理事務室1戸）●駐車場空台数／42台（平面式1台・自走式41台）（月額使用料：5,500円～14,000円）、別途来客用駐車場2台●自転車置場空台数／115台（平面式2台・ラック式113台（月額使用料：100円～400円）、別途来客用自転車置場スペース）●バイク置場空台数／7台（月額使用料：700円～1,000円）●分譲後の権利形態／土地：各専有面積割合による敷地利用権（所有権）の共有、建物：<専有部分>区分所有権、<共用部分>各戸専有面積割合による共有●管理形態／入居後、管理組合を設立していただき、組合と大和ライフネクスト株式会社との間で管理委託契約を締結していただきます。●建物竣工予定／平成28年1月完成済●入居予定／即入居可●事業主・売主／大和ハウス工業株式会社福岡支社マンション事業部●販売代理／エース不動産株式会社【九州営業所】福岡市博多区博多駅前2丁目19番17号トーカン博多ビル5階、TEL：092-433-1789 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣（2）第8045号（公社）全国宅地建物取引業保証協会会員、（公社）東京都宅地建物取引業協会会員 千代田中央支部、（公社）福岡県宅地建物取引業協会 博多支部●管理会社／大和ライフネクスト株式会社熊本支店●設計・監理／株式会社鴻池組大阪本店一級建築士事務所●施工／株式会社鴻池組九州支店

【第1期～第3期4次先着順物件概要】●販売戸数／27戸●販売価格（税込）／3,300万円（1戸）～10,000万円（1戸）●最多販売価格帯／3,300万円台（4戸）●間取り／2LDK・2LDK+S（納戸）・3LDK・4LDK●専有面積／69.20㎡～137.59㎡（トランクルーム面積0.40㎡・0.45㎡・0.46㎡含む）●バルコニー面積／12.50㎡～60.76㎡●アルコーブ面積／3.42㎡～6.05㎡●管理費（月額）／7,270円～14,450円●修繕積立金（月額）／6,230円～12,380円●インターネット使用料（月額）／1,296円●管理準備金（一括）／7,270円～14,450円●修繕積立基金（一括）／436,100円～866,600円●先着順申込受付場所／大江レジデンスサロン●312号室は平成28年3月よりモデルルームとして使用しております。●1406号室は平成29年1月よりモデルルームとして使用しております。●909号室は今回販売対象ではございません。●広告制作年月日／平成29年2月3日●取引条件有効期限／平成29年3月31日※最新の概要につきましてはホームページでご確認ください。



カーナビアドレス ▶ 熊本市中央区大江3丁目1-72

※掲載地図は略図であり実際とは多少異なる場合があります。省略された道路・施設がありますので予めご了承下さい。

Daiwa House®
大和ハウスグループ

〈事業主・売主〉
大和ハウス工業株式会社 福岡支社 マンション事業部
福岡市博多区上牟田2丁目11番24号 〒812-0006 Tel 092-473-5160 Fax 092-473-5158
建設業許可番号・国土交通大臣許可（特-27-28）第5279号 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣（14）第245号
（公社）福岡県宅地建物取引業協会会員 （一社）不動産協会会員 （一社）日本木造住宅産業協会会員
（一社）日本ツーバイフォー建築協会会員 （一社）プレハブ建築協会会員 （一社）九州不動産公正取引協議会加盟
www.daiwahouse.co.jp

大江レジデンスサロン
0120-855-520
営業時間／10:00～19:00 定休日／火曜日・水曜日（祝日除く）
ダイワ 大江 検索 http://dhms.jp/oe/

PREMIST
大江本町
OE-HONMACHI

熊本県歯科医師会会員の皆様へ

ダイワハウス分譲マンション「プレミスト大江本町」のご案内

エントランスホール（平成27年10月撮影）

建物内モデルルーム公開中／即入居可

熊本市電「味噌天神前」電停まで
徒歩1分（約50m）

上通・下通りアーケードまで
徒歩19分（約1,500m）

総戸数50戸の
プライベートレジデンス

「プレミスト大江本町」共通物件概要●物件名称／プレミスト大江本町●所在地／熊本県熊本市中央区大江本町6番5（地番）●交通／熊本市電「味噌天神前」電停徒歩1分、JR豊肥本線「新水前寺」駅徒歩5分●用途地域／商業地域●地目／宅地●建ぺい率／80%●容積率／400%●敷地面積／984.24㎡●建築面積／636.70㎡●建築延床面積／5366.81㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上11階建●建築確認番号／第ERI14020554号（平成26年6月19日）●総戸数／50戸（別途、管理事務室1戸）●駐車場空台数／34台（平面4区画※内、1区画は縦列2台・タワーパーキング29台/月額使用料：10,000円～32,000円）●自転車置き場空台数／44台（平面5台・ラック式39台/月額使用料：200円～400円●バイク置き場空台数／7台（月額使用料：2,000円）●分譲後の権利形態／土地：各戸専有面積割合による敷地利用権（所有権）の共有、建物：<専有部分>区分所有権<共有部分>各戸占有面積割合による共有●管理形態／入居後、区分所有者全員により管理組合を設立していただき、組合と大和ライフネクスト株式会社との間で管理委託契約を締結していただきます。●建物竣工予定／平成27年10月完成済●入居予定／即入居可●事業主・売主／大和ハウス工業株式会社 福岡支社マンション事業部●販売代理／株式会社T・フィールド 〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜2丁目3番6号・8F TEL.092(716)7835 宅地建物取引業者免許番号／福岡県知事(3)第14849号（公社）福岡県宅地建物取引協議会会員●管理会社／大和ライフネクスト株式会社熊本支店●設計・監理／株式会社H.R.S.プランニング●施工／西松建設株式会社九州支社
【第1期・第1期4次物件概要】●販売戸数／8戸●販売価格（税込）／2,980万円（1戸）～4,380万円（1戸）●最多販売価格帯／3,500万円台（2戸）●間取り／3LDK・4LDK●専有面積／71.87㎡～89.58㎡●バルコニー面積／12.50㎡～17.34㎡●サービスバルコニー面積／1.53㎡●アルコーブ面積／2.93㎡～7.66㎡●管理費（月額）／10,420円～12,990円●修繕積立金（月額）／7,190円～8,960円●インターネット使用料（月額）／1,296円●管理準備金（引渡時一括払い）／20,840円～25,980円●修繕積立基金（引渡時一括払い）／553,630円～689,920円●先着順申込受付場所／プレミスト大江本町レジデンスサロン※先着順につき、売約済みの場合がございます。予めご了承ください。●お申込の際は、認印、本人確認書類（運転免許証等）、収入証明資料（給与所得者の場合は平成27年・28年分の源泉徴収票、確定申告をされている方は過去3年分の確定申告書）が必要です。●402号室・802号室・905号室は今回販売対象住戸ではございません。●広告制作日／平成29年2月3日●取引条件有効期限／平成29年3月31日※最新の概要につきましてはホームページでご確認ください。

※地図は略図につき実際とは多少異なる場合があります。

〈事業主・売主〉
大和ハウス工業株式会社　福岡支社 マンション事業部
福岡市博多区上牟田2丁目11番24号　〒812-0006　Tel 092-473-5160　Fax 092-473-5158
建設業許可番号・国土交通大臣許可（特-27・28）第5279号　宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣（14）第245号
（公社）福岡県宅地建物取引業協会会員（一社）不動産協会会員（一社）日本木造住宅産業協会会員
（一社）日本ツーバイフォー建築協会会員（一社）プレハブ建築協会会員（一社）九州不動産公正取引協議会加盟
www.daiwahouse.co.jp

Daiwa House®
大和ハウスグループ

プレミスト大江本町レジデンスサロン
0120-831-832
営業時間／10:00～19:00　定休日／火曜日・水曜日（祝日除く）
ダイワ 大江本町　検索　http://dhms.jp/oe-honmachi/

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
March 2017 No.729

4 主な行事予定 April

5日(水)	第42回常務理事会
9日(日)	摂食・嚥下リハビリテーション研修会
19日(水)	第43回常務理事会
23日(日)	第21回県歯科医学大会
26日(水)	第24回理事会

©2010 熊本県くまモン #K6356

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

朝晩の寒さは、まだまだ身に凍みますが、昼間の陽気に春の訪れを感じる季節になりました。受験生の皆さん、熊本城マラソン参加の皆様、大変お疲れ様でした！いろんな思いを胸に激走し、それぞれまた新たな一歩を踏み出されただろうと思います。

卒業シーズンの今、心に残る曲がありますか？私は「贈る言葉」世代ですが…先日、知人から「いのちの歌」を勧められました。卒業式で子供達が歌うそうだ。普段聴いても泣けるのに、式では大号泣だろうと思います。なんとなく知ってる程度でしたが、今改めてじっくり聴いてみると、いろいろな思いで胸が熱くなりました。昨年の熊本地震を経験したからこそ余計に心に響くのかもしれません。今年度は、学校のイベントが中止されたりしてかわいそうな学年でもあったようですが、大きく成長できたと思います。

いのちに感謝し、素晴らしい新年度を迎えていただきたいと思います。

１度「いのちの歌」を聴いてみてはいかがですか。 (T.M)

■発行日／2017年3月6日発行 ■発行人／浦田 健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷